

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2005-505755(P2005-505755A)

【公表日】平成17年2月24日(2005.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2005-008

【出願番号】特願2003-517587(P2003-517587)

【国際特許分類第7版】

G 0 1 N 33/53

C 0 7 K 16/34

G 0 1 N 33/577

// C 1 2 P 21/08

【F I】

G 0 1 N 33/53 K

C 0 7 K 16/34

G 0 1 N 33/577 B

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月22日(2005.4.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記を含むことを特徴とする、ネコの血液型を判定するためのキット：

(a) 少なくとも1種類のモノクローナル抗体とネコの血液サンプルとの接触を促進するための基体部材；及び

(b) 該基体部材と接触して置かれている第1のモノクローナル抗体と第2のモノクローナル抗体の混合物であって、各抗体が少なくとも1つのネコの血液グループの特異的A抗原を認識することを特徴とする、混合物。

【請求項2】

前記混合物中のモノクローナル抗体の一つが糖脂質A抗原( $\text{NeuGc})_2\text{G}_{\text{D}_3}$ を認識することを特徴とする請求の範囲1記載のキット。

【請求項3】

前記混合物中のモノクローナル抗体の一つが、( $\text{NeuGc})_2\text{G}_{\text{T}_3}$ を含む糖脂質A抗原、またはガングリオシドを含有する(NeuGc)を認識することを特徴とする請求の範囲1記載のキット。

【請求項4】

前記第1のモノクローナル抗体が13G3抗体であることを特徴とする請求の範囲1記載のキット。

【請求項5】

前記第2のモノクローナル抗体が4E10抗体であることを特徴とする請求の範囲1記載のキット。

【請求項6】

前記モノクローナル抗体が34~136  $\mu\text{g}/\text{ml}$ の濃度で溶液中に存在することを特徴とする請求の範囲3記載のキット。

**【請求項 7】**

前記モノクローナル抗体が64~256  $\mu\text{g}/\text{ml}$ の濃度で溶液中に存在することを特徴とする請求の範囲2記載のキット。

**【請求項 8】**

前記抗体混合物が凍結乾燥されていることを特徴とする請求の範囲1記載のキット。

**【請求項 9】**

前記基体部材がカード部材と試験管から成る群から選ばれることを特徴とする請求の範囲1記載のキット。

**【請求項 10】**

血液型Bと凝集反応を起こす物質を包括することを特徴とする請求の範囲1記載のキット。

**【請求項 11】**

前記物質がTriticum vulgarisから得られたレクチンであることを特徴とする請求の範囲1記載のキット。

**【請求項 12】**

下記工程を含むことを特徴とする、ネコの血液サンプルを血液型判定するための方法：

(a) 血液サンプルを被検ネコから採取する工程；

(b) 当該血液サンプルのある量を基体部材に施す工程であって、それにより第1のモノクローナル抗体と第2のモノクローナル抗体との混合物と当該基体部材との間の接触が促進されること、かつ各抗体がネコの血液グループA特異的抗原を認識することを特徴とする、工程；及び

(c) 当該サンプルが凝集反応を起こしたか否かを判定するために、当該血液サンプル及び当該抗体混合物を検査する工程。

**【請求項 13】**

血液型を判定すべき各ネコから得られた、EDTA中に集められた50  $\mu\text{l}$ から100  $\mu\text{l}$ の間の血液サンプルを、前記基体部材に加えることを特徴とする請求の範囲12に記載の方法。

**【請求項 14】**

前記混合物中のモノクローナル抗体の一つが糖脂質A抗原( $\text{NeuGc})_2\text{G}_{\text{D}3}$ を認識することを特徴とする請求の範囲12に記載の方法。

**【請求項 15】**

前記13G3抗体が34~136  $\mu\text{g}/\text{ml}$ の濃度で存在することを特徴とする請求の範囲12に記載の方法。

**【請求項 16】**

前記4E10抗体が64~256  $\mu\text{g}/\text{ml}$ の濃度で存在することを特徴とする請求の範囲12に記載の方法。

**【請求項 17】**

前記血液サンプルが、凝集の観察に十分な量の前記抗体混合物と混合されることを特徴とする請求の範囲12に記載の方法。

**【請求項 18】**

ネコの血液型判定のためにモノクローナル抗体を用いる方法であって、ネズミのモノクローナル抗体の混合物とネコの血液サンプルを接触する工程を含み、ここで、当該抗体の一つが糖脂質A抗原( $\text{NeuGc})_2\text{G}_{\text{D}3}$ を認識し、他の当該モノクローナル抗体が、糖脂質A抗原( $\text{NeuGc})_2\text{G}_{\text{T}3}$ 、またはガングリオシドを含む( $\text{NeuGc}$ )を認識する、方法。

**【請求項 19】**

ネコのA型血液を特徴づける赤血球糖脂質抗原上にある受容体と特異的に結合し、かつネコのB型血液を特徴づける抗原上のいかなる受容体とも結合しないことを特徴とする、単離されたネズミモノクローナル抗体。

**【請求項 20】**

糖脂質A抗原( $\text{NeuGc})_2\text{G}_{\text{D}3}$ を認識することを特徴とする請求の範囲19に記載の抗体。

**【請求項 21】**

糖脂質A抗原( $\text{NeuGc}$ )<sub>2</sub> $\text{G}_{\text{T}3}$ 、またはガングリオシドを含む( $\text{NeuGc}$ )を認識することを特徴とする請求の範囲19に記載の抗体。

**【請求項 22】**

二つの別個のモノクローナル抗体を含むモノクローナル抗体混合物とネコ血液サンプルとの間の接觸を促進するための基体部材を含み、当該混合物は糖脂質A抗原( $\text{NeuGc}$ )<sub>2</sub> $\text{G}_{\text{D}3}$ を認識する第1モノクローナル抗体、及び糖脂質A抗原( $\text{NeuGc}$ )<sub>2</sub> $\text{G}_{\text{T}3}$ またはガングリオシドを含む( $\text{NeuGc}$ )を認識する第2モノクローナル抗体を含み、当該第1の抗体が64~256  $\mu\text{g}/\text{ml}$ の濃度で存在し、当該第2の抗体が34~136  $\mu\text{g}/\text{ml}$ の濃度で存在することを特徴とする、ネコの血液型を判定するためのキット。